

2019年12月期(1月1日~12月31日) 決算説明資料

2020年2月13日

ユニ・チャーム株式会社

代表取締役 社長執行役員

高原 豪久

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

2019年12月期(1月1日~12月31日) 決算概要

◆資料内の表記

BC: ベビーケア事業

FC: フェミニンケア事業

HC: ヘルスケア事業

C&F: クリーン&フレッシュ事業

PC: ペットケア事業

● 連結業績

- 売上高7,142億円(3.8%増収)、コア営業利益898億円(5.6%減益)
- コア営業利益率(COPM) 13.8%⇒12.6%

● 日本業績(2.1%減収、23.0%減益)

- HCは『ライフリー』の中度・軽度商品及び『超快適マスク』を中心に高成長を継続し増収増益
- PCはプレミアム商品や市場創造型商品を継続的に投入し増収増益
- 消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が若干予想を下回り、それに伴う反動の戻りが遅れたことと、越境ECの減収を吸収しきれず、2019年度下期では1%増収と計画未達成
- 日本の減収減益の主要因であるBCは中国向け越境ECの在庫調整や転売業者の減少等が影響し減収減益も、国内消費者への対応を強化し店頭シェアは上昇(+3.9P)
- 物流費の高騰と九州新工場の稼働、越境EC鈍化による稼働率悪化等により収益性悪化

● 海外業績(7.8%増収、19.5%増益)

- アジア・・・8.9%増収、18.2%増益、コア営業利益率(COPM)11.8%(1.0P改善)
- 中国、インド、北米、タイ、ブラジルが好調を継続し増収増益を牽引
- 中国・・・FCは2桁成長を継続、BCの業績は回復基調も減損処理を実施し2020年より再活性化
- インド・・・BC、FCともに、先行的に積極的なマーケティング投資を実施し高成長を持続

● 株主還元(18期連続増配、自己株式150億円取得)

- 1株当たり配当金・・・当初の予定どおり4円増配とし、年間配当金28円
- 自己株式取得・・・総額150億円、424万株を取得

3.8%増収、5.6%営業減益、売上高は過去最高を更新

■ 連結決算ハイライト(1-12月)

(百万円)

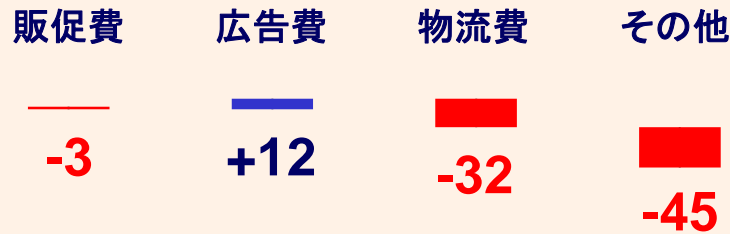
	'18/12月期	'19/12月期	増減額	増減率	(当初予想) '19/12月期	達成率
売上高	688,290	714,233	+25,943	+3.8%	730,000	97.8%
コア営業利益 (利益率)	95,107 (13.8%)	89,779 (12.6%)	-5,328	-5.6% (-1.2P)	100,000 (13.7%)	89.8%
税引前当期利益 (利益率)	91,561 (13.3%)	69,538 (9.7%)	-22,023	24.1% (-3.6P)	96,500 (13.2%)	72.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益 (利益率)	61,353 (8.9%)	46,116 (6.5%)	-15,236	-24.8% (-2.4P)	63,500 (8.7%)	72.6%
EBITDA (税引前当期利益+減価償却費及び償却費)	121,914	108,214	-13,700	-11.2%	128,500	84.2%
基本的1株当たり当期利益(円)	103.73	77.53	-26.20	-25.3%	—	—
USDレート(円)	110.43	109.05	-1.38	-1.2%	109.50	—
中国元レート(円)	16.72	15.78	-0.94	-5.6%	15.90	—

海外ではインドを中心に数量増となるも、中国向け越境ECの大幅減収減益や、eコマース、新商品等の売上高控除販促費率の悪化により53億円の減益。

■ コア営業利益増減(1-12月)

(億円)

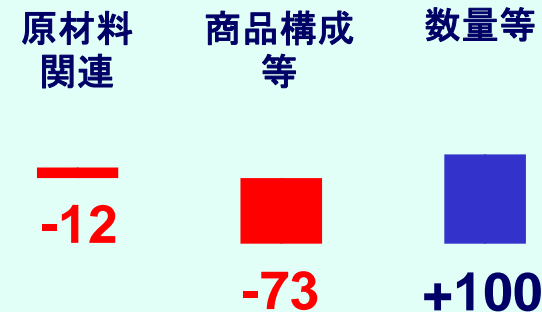
販売管理費率
0.1P悪化



【その他の主な内訳】

- ・DSGの新規連結により 約-25億円
- ・IFRS第16号「リース」適用の影響 約-10億円
- ・人件費 約-4億円
- ・開発費 約-9億円

粗利益率
1.1P悪化



【商品構成等の主な内訳】

- ・売上高控除販促費率の上昇 (ECイベントや棚代) 約-50億円
- ・九州工場関連費用 約-19億円
- ・越境EC収益性の悪化

951

898

‘18年12月期

‘19年12月期

アジアでは中国が増収増益を牽引、インドは高成長を継続。
日本ではHC、PCが増収増益だが、越境ECの大幅減収減益
が影響。その他では中東、ブラジル、米国が好調を継続。

■ 所在地別セグメント情報(1-12月)

(百万円)

		'18/12月期	'19/12月期	増減額	増減率	(参考) ^{※1} 実質 増減率
日本	売上高	279,589	273,773	-5,817	-2.1%	—
	コア営業利益	56,334	43,372	-12,961	-23.0%	—
	(利益率)	(20.1%)	(15.8%)		(-4.3P)	
アジア	売上高	302,866	329,934	+27,069	+8.9%	+12.0%
	コア営業利益	32,835	38,812	+5,977	+18.2%	+21.3%
	(利益率)	(10.8%)	(11.8%)		(+1.0P)	
その他 ^{※2}	売上高	105,835	110,526	+4,691	+4.4%	+7.3%
	コア営業利益	5,809	7,373	+1,564	+26.9%	+28.1%
	(利益率)	(5.5%)	(6.7%)		(+1.2P)	
連結	売上高	688,290	714,233	+25,943	+3.8%	+5.6%
	コア営業利益	95,107	89,779	-5,328	-5.6%	-4.5%
	(利益率)	(13.8%)	(12.6%)		(-1.2P)	—

【主要国 売上高 実質増減率】※管理会計ベース

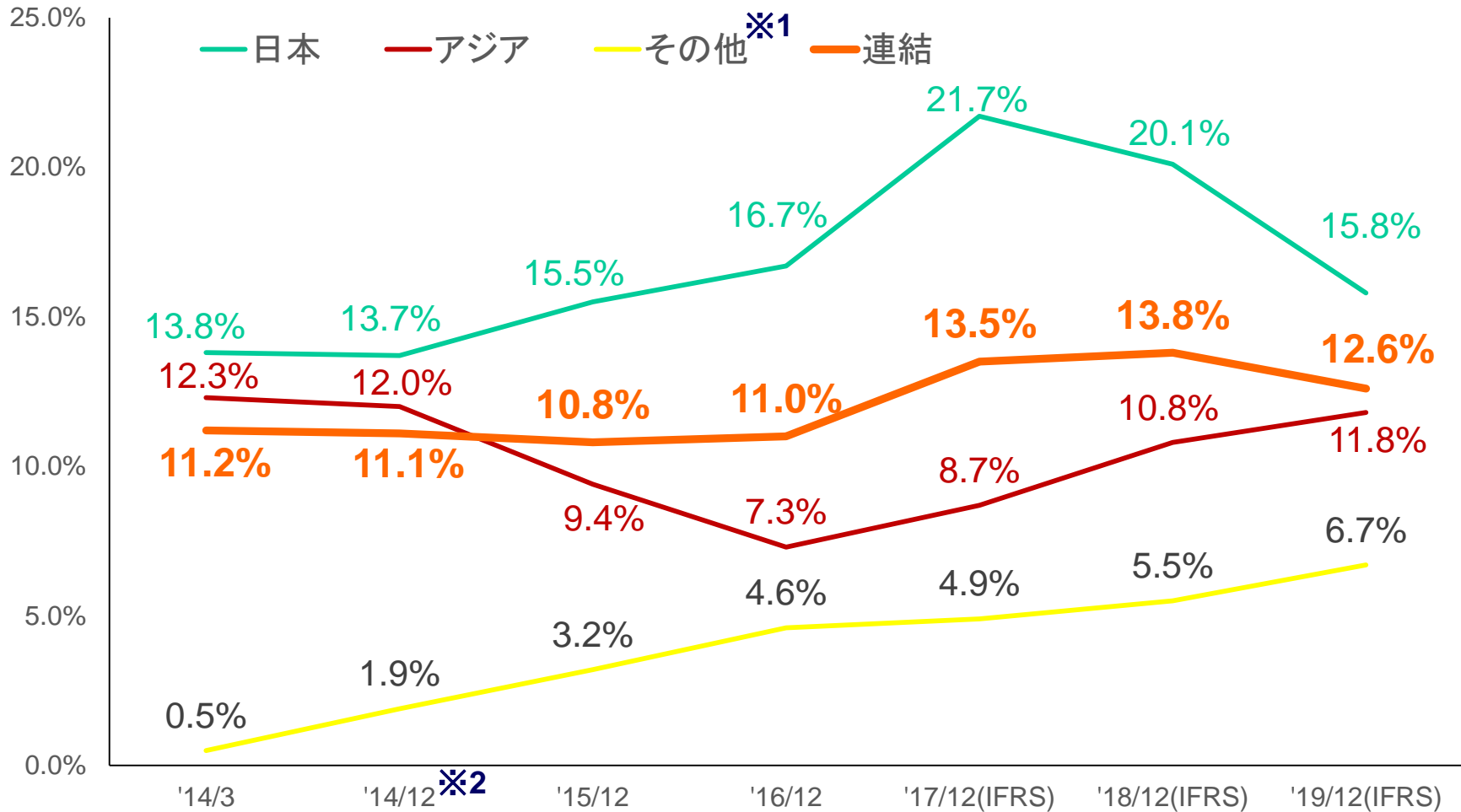
中国 +8% インドネシア(DSG除き) +5% タイ(DSG除き) +2% インド +26% ベトナム -2%
中東 +12% 北米 +10% ブラジル +30%

※1: 実質増減率は為替変動を除く増減率。

※2: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

日本は中国元安の影響等もあり越境ECの収益性が悪化。
 アジアは中国FCでプレミアム化拡大、インドでエリア拡大等での収益性改善。その他は北米PC、ブラジルでの収益性改善。

■ 所在地別 コア営業利益率(営業利益率)(1-12月)



※1: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

※2: 決算期変更により変則的な決算期間。

パーソナルケアはFCとHCが好調継続だが、越境ECの成長鈍化や九州工場稼働の影響もあり増収減益。
PCは日本や北米、アジア地域で好調に推移し増収増益。

■ 事業別セグメント情報(1-12月)

(百万円)

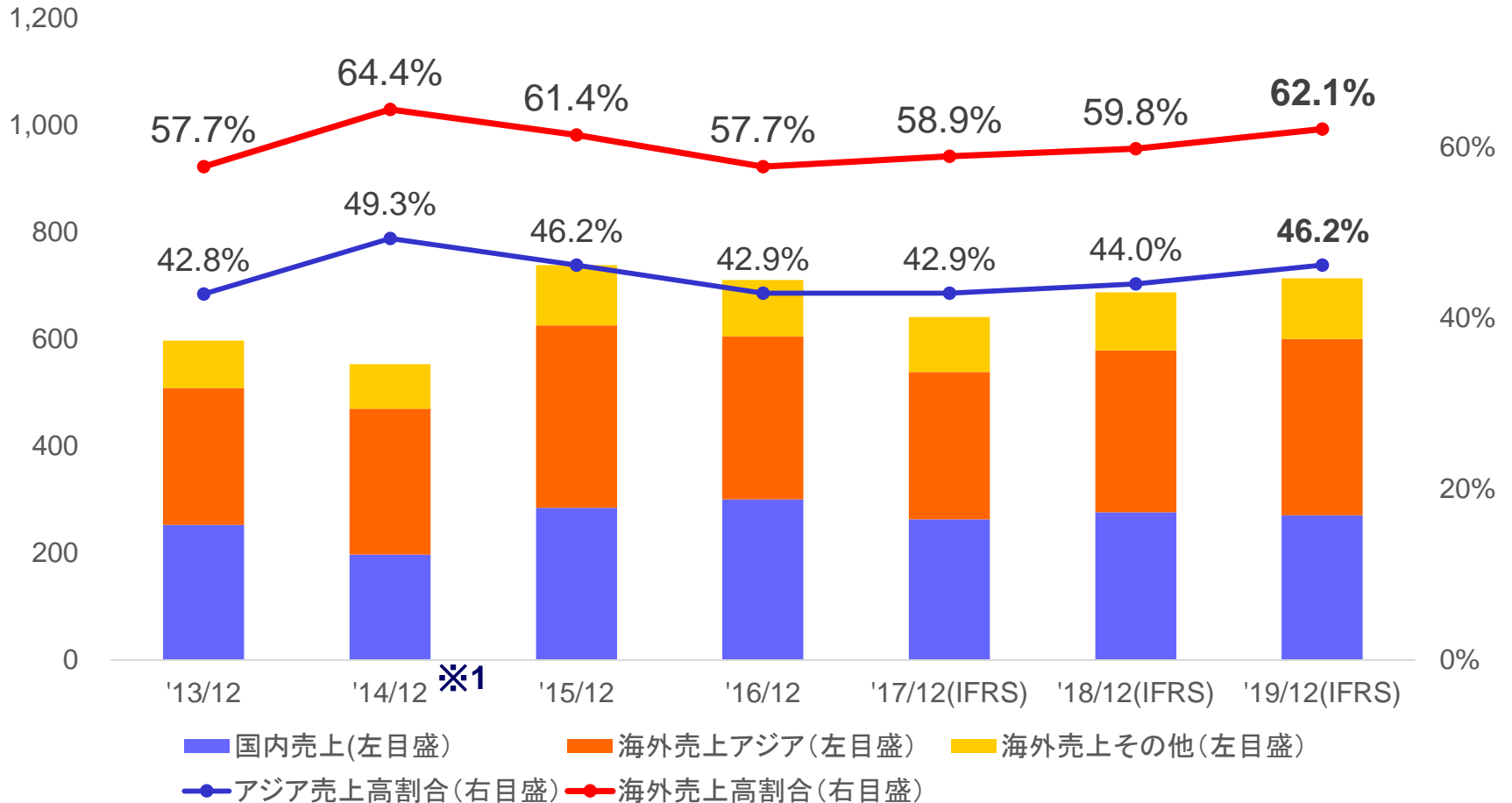
		‘18/12月期	‘19/12月期	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	599,290	620,742	+21,453	+3.6%
	コア営業利益	84,833	78,893	-5,940	-7.0%
	(利益率)	(14.2%)	(12.7%)		(-1.5P)
ペットケア	売上高	82,073	86,977	+4,904	+6.0%
	コア営業利益	10,123	10,667	+543	+5.4%
	(利益率)	(12.3%)	(12.3%)		(±0P)
その他 ^{※1}	売上高	6,927	6,514	-413	-6.0%
	コア営業利益	151	219	68	+45.1%
	(利益率)	(2.2%)	(3.4%)		(+1.2P)
連結	売上高	688,290	714,233	+25,943	+3.8%
	コア営業利益	95,107	89,779	-5,328	-5.6%
	(利益率)	(13.8%)	(12.6%)		(-1.2P)

※1:その他は産業用資材関連商品等、育児動画配信サービス。

海外売上高構成比は62.1% (為替影響を除くと62.7%)

■ 国内・海外売上高推移(1-12月)

(十億円)



※1: 決算期変更により変則的な決算期間。

為替変動の影響額は 売上高 約125億円減、コア営業利益 約11億円減

■ 通貨別変動推移(1-12月平均レート)

通貨	'18/12期レート	'19/12期レート	増減率
中国(CNY)	16.72	15.78	-5.6%
インドネシア(IDR)	0.0078	0.0077	-1.3%
タイ(THB)	3.42	3.52	+2.9%
インド(INR)	1.63	1.56	-4.3%
サウジアラビア(SAR)	29.49	29.12	-1.3%
ベトナム(VND)	0.0048	0.0047	-2.1%
米国(USD)	110.43	109.05	-1.2%
オランダ(EUR)	130.42	122.07	-6.4%
台湾(TWD)	3.67	3.53	-3.8%
韓国(KRW)	0.1006	0.0938	-6.8%
オーストラリア(AUD)	82.60	75.83	-8.2%
マレーシア(MYR)	27.39	26.33	-3.9%
ブラジル(BRL)	30.37	27.69	-8.8%
エジプト(EGP)	6.20	6.48	+4.5%
ロシア(RUB)	1.77	1.69	-4.5%

積極的な投資活動によって事業の拡大を進め、 継続的なフリー・キャッシュ・フローの最大化から 持続的な企業価値向上を図る

■ フリー・キャッシュ・フロー

(百万円)

	'18/12月期	'19/12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,867	84,936	-25,931
上記のうち投資関連科目 (減価償却費及び償却費)	30,353	38,676	8,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	-113,400	-69,235	44,165
上記のうち投資関連科目 (有形固定資産及び無形資産の取得)	-43,303	-44,017	-714
フリー・キャッシュ・フロー※1	-2,533	15,701	18,234

用途

持続的な成長に向けた投資

株主還元

※1:フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー。

2020年12月期 業績予想概要

SDGsを「Purpose」に Mission・Vision・Valueの3階層からバックキャスティング 思考でイノベーションを起こし持続的成長を目指す



2020年度の取組み／連結業績予想サマリー

● 連結(売上高7,600億円 6.4%増収、コア営業利益1,000億円 11.4%増益)

➢ 第11次中期経営計画(‘21～’23年)に向けたプロローグ

- ✓ SDGs(持続可能な開発目標)を「purpose」とし、「Mission・Vision・Value」の3階層で考えてMissionである「共生社会の実現」を目指す
- ✓ 引き続き、ニーズに則った新商品開発の強化及び新市場を創造
- ✓ 高収益、高成長市場である「HC、FC、PC」へ、経営資源を積極的に投下し事業構造の変革を図る
- ✓ 持続的な成長に向け、中国でデジタルイノベーションセンターの稼働等、デジタルへの取組み強化費用を積極的に投下(約5億円)

➢ 原材料価格の変動による影響は、年間25億円利益増を想定

➢ 設備投資額・・・465億円 減価償却費・・・385億円を計画

● 日本(1～5%増収、収益性改善)

- 高付加価値商品の展開強化、HCは1桁後半の成長、BCが越境ECの安定化見込む

● アジア(5～10%増収、収益性改善)

- 主要国の売上高伸長率(現地通貨ベース)

中国+1～5% タイ+1～5% インドネシア+5～10% インド+15～20% ベトナム+1～5%

● 株主還元(総還元性向50%)

- 1株当たり年間配当金は、4円増配の32円 配当性向約30% 19期連続増配を計画
- 自己株式の取得は、機動的に実行

2020年度予想は 売上高から全ての利益項目で過去最高を更新

■ 連結業績予想(1-12月)

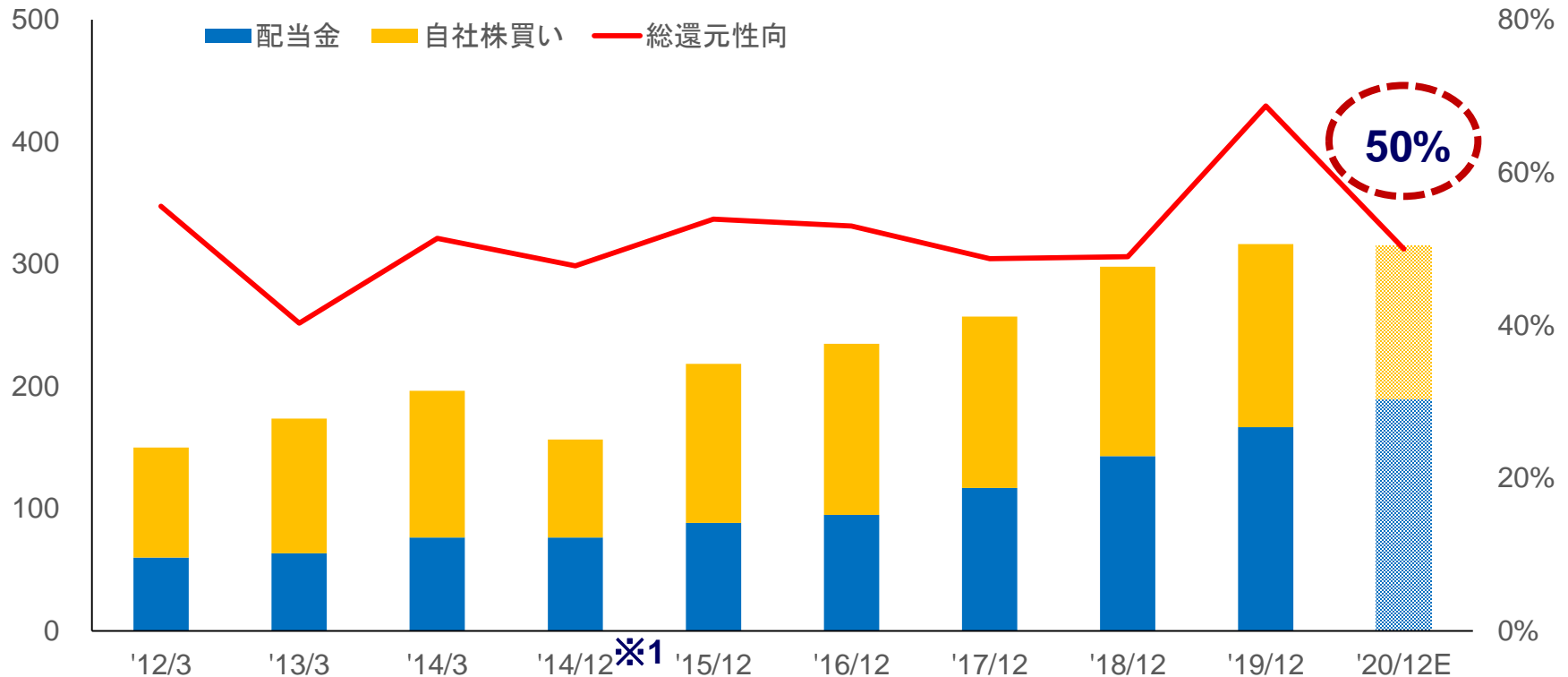
(百万円)

	'19/12月期	'20/12月期	増減額	増減率
売上高	714,233	760,000	+45,767	+6.4%
コア営業利益 (利益率)	89,779 (12.6%)	100,000 (13.2%)	+10,221	+11.4% (+0.6P)
税引前当期利益 (利益率)	69,538 (9.7%)	98,000 (12.9%)	+28,462	+40.9% (+3.2P)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (利益率)	46,116 (6.5%)	63,000 (8.3%)	+16,884	+36.6% (+1.8P)
基本的1株当たり当期利益(円)	77.53	105.66	+28.14	+36.3%
USDレート(円)	109.05	109.00	-0.05	-0.0%
中国元レート(円)	15.78	15.50	-0.28	-1.8%

株主還元政策

業績に連動した配当金と自己株式の取得により 2020年度も総還元性向50%を目標。

株主還元政策 (億円)



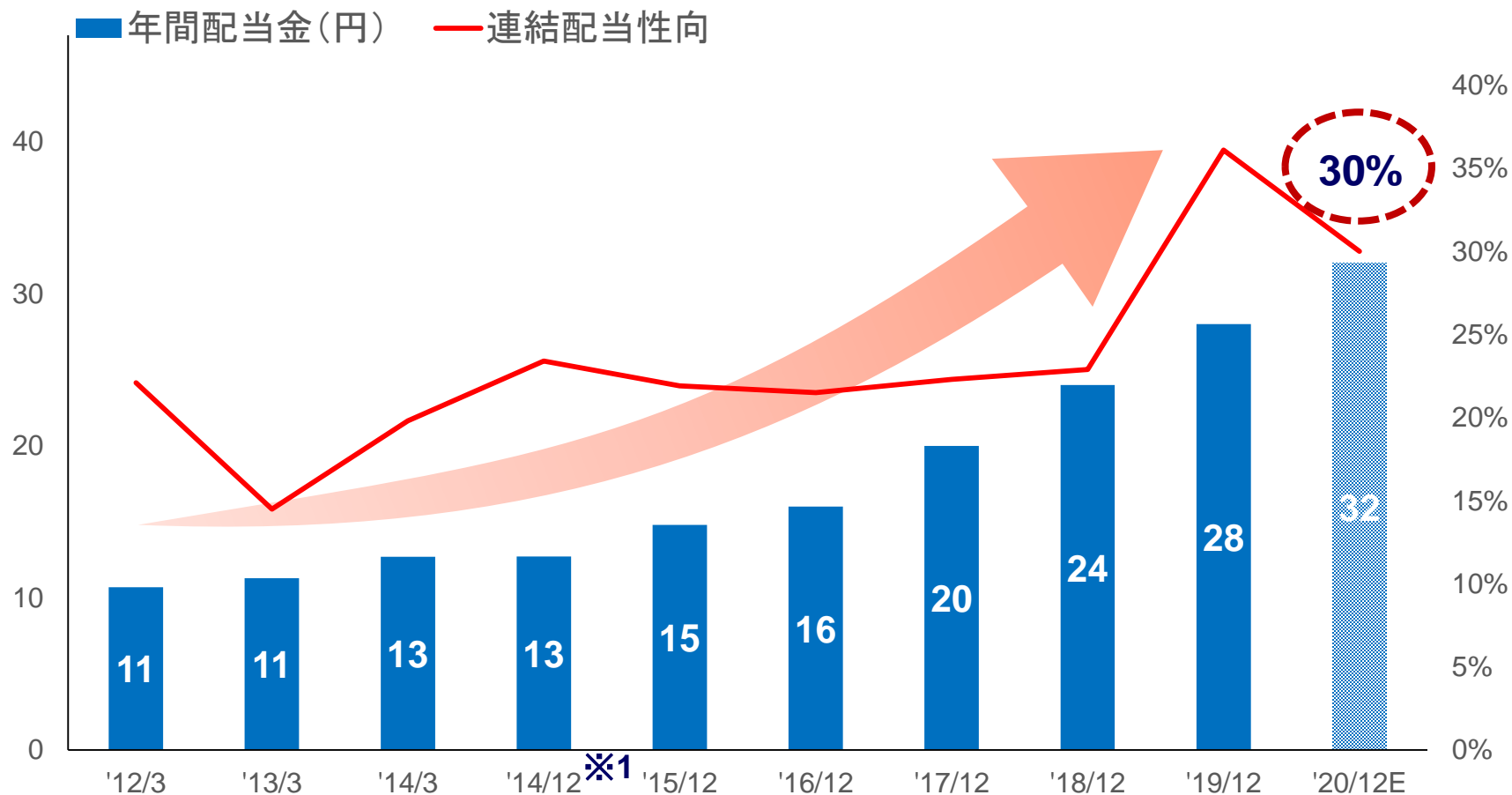
※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**に利益還元を図っております。

安定的かつ継続的な増配を実施し、19期連続増配を計画。
 配当性向30%を計画。

■ 1株当たり配当金の推移

(円)

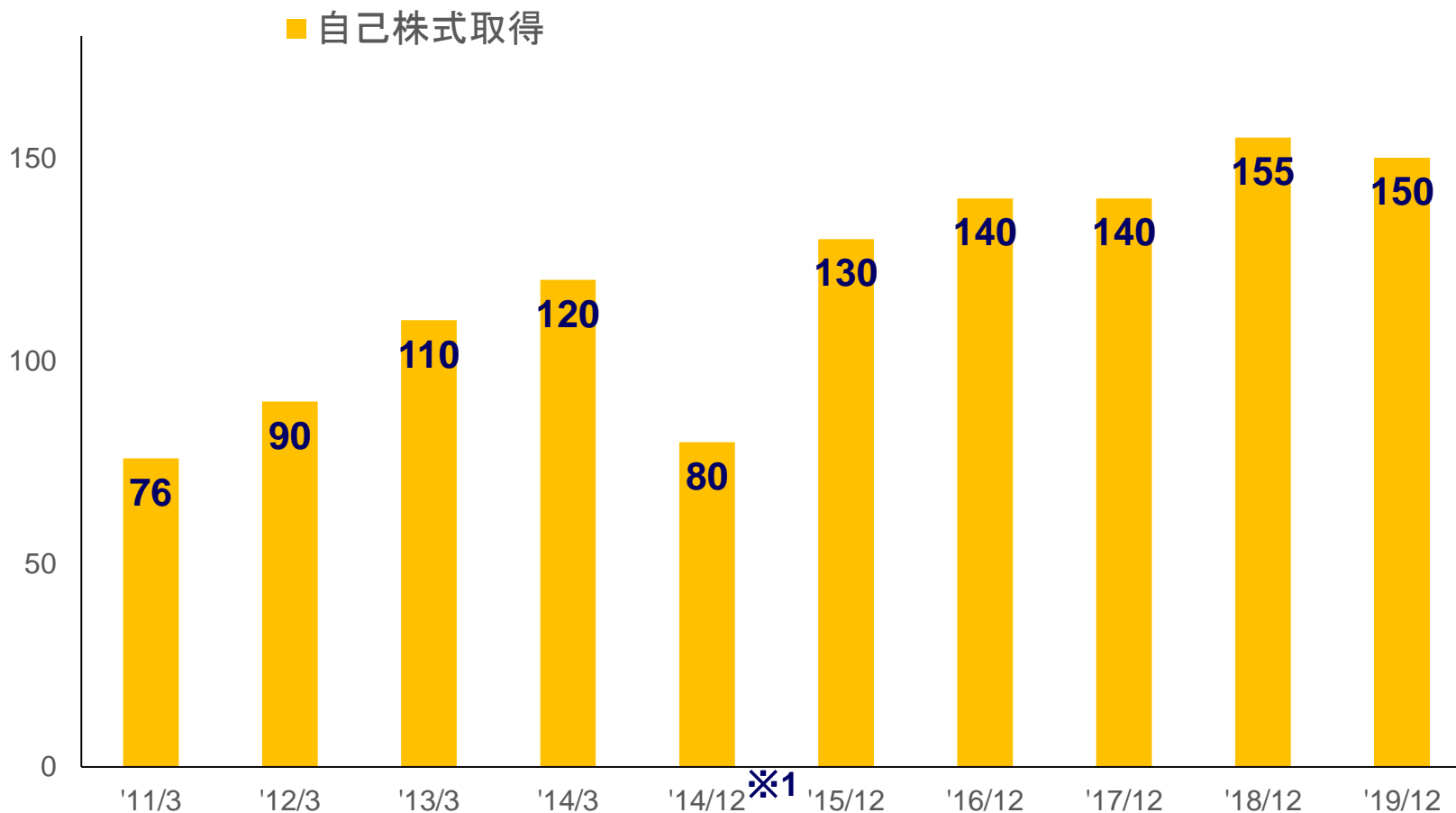


※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

キャッシュの状況に応じて機動的に自己株式を取得。 ‘19年は、約150億円取得。

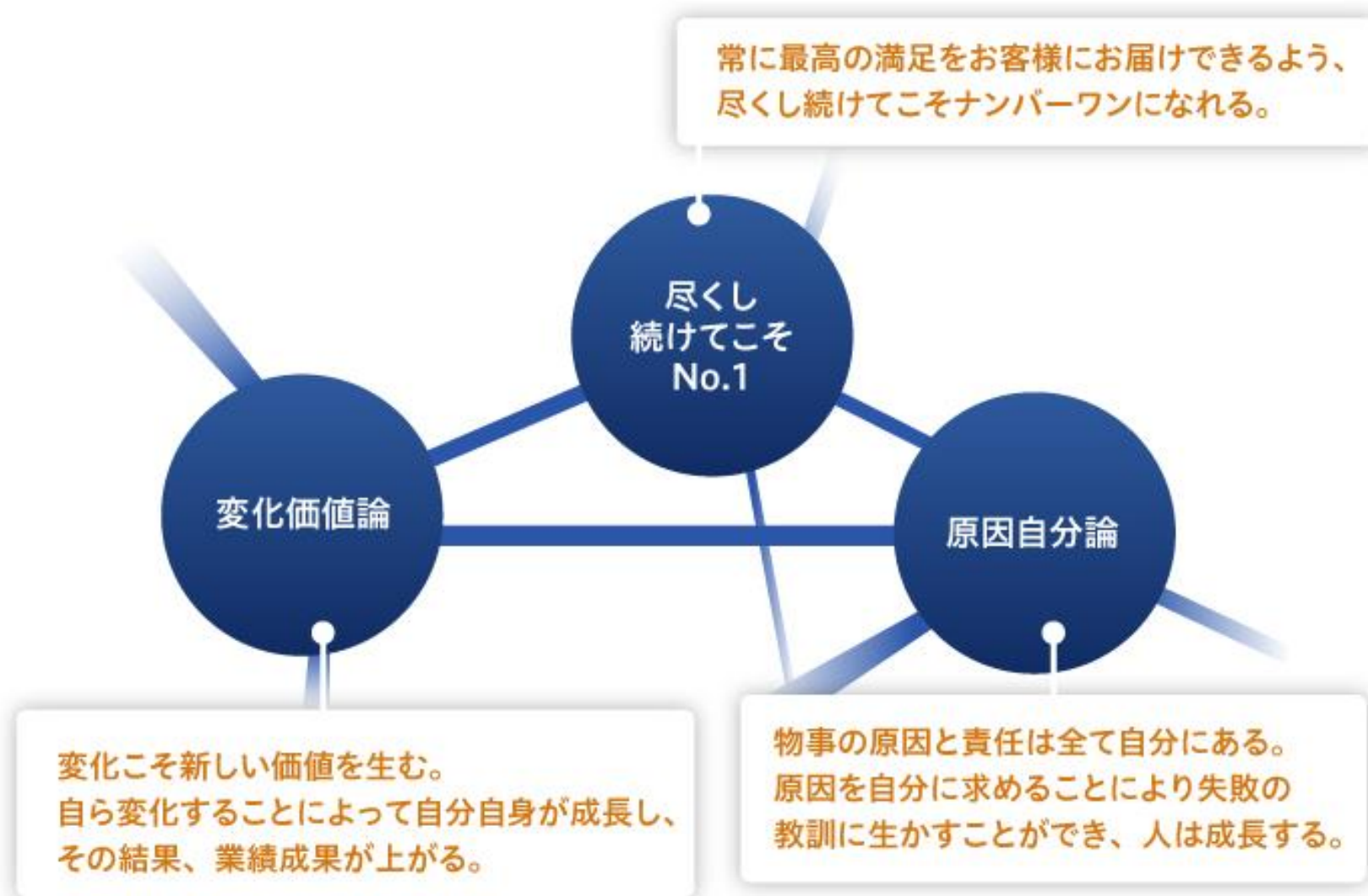
■ 自己株式取得の推移

(億円)



※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

企業価値向上に向けて



Best
Practice-ship

世界中のベストプラクティスを
学び、その時点で最高のものを
スピードをもって採り入れていくこと






Ownership

何事も自分事として捉え、
自ら率先して動くことで
困難を突破していくこと

Partnership

利他の心で常に
仲間や家族やお取引先様との
協働を重んじること

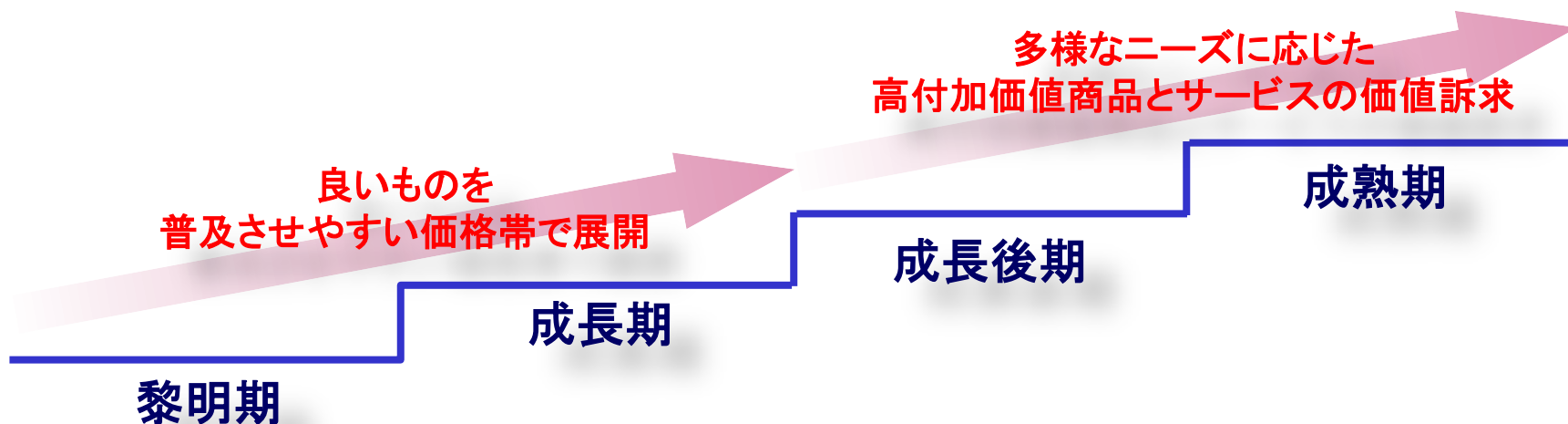
幅広い層をターゲットとした事業展開による長期収益モデル

	 乳幼児	 若年	 中年	 高齢者	 ペット
パーソナルケア事業					
ベビーケア	●				
フェミニンケア		●	●		
クリーン&フレッシュ	●	●	●	●	
ヘルスケア			●	●	
ペットケア事業					●

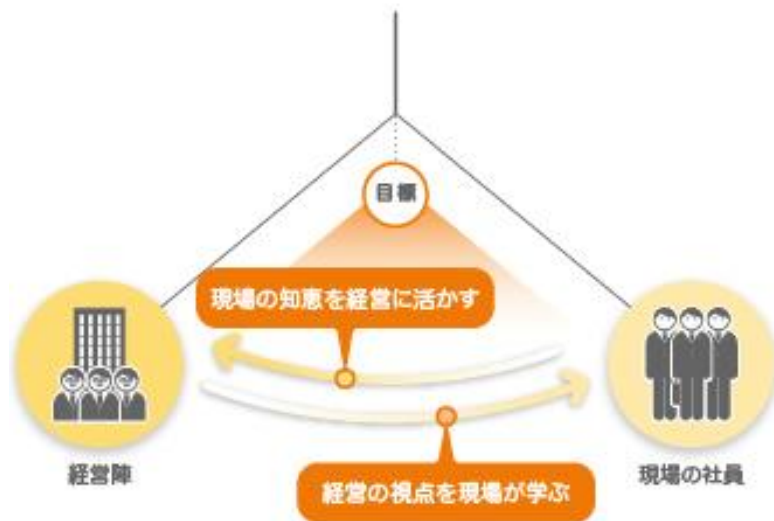
◆勝ちパターンの進化



◆各国・各事業の成長ステージに応じた戦略により市場を拡大



◆共振の経営



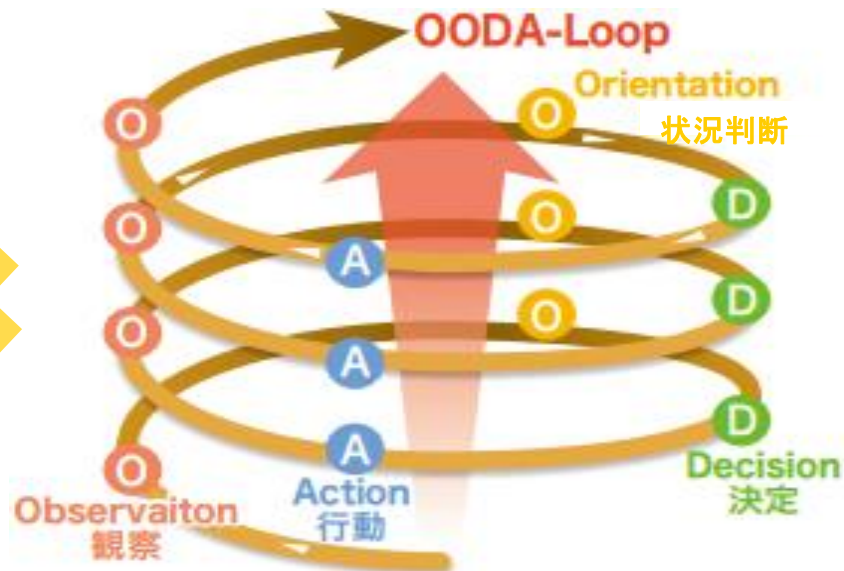
現場の社員と経営陣が情報を共有し
ともに目標に向かって進んでいく



**【BOP-ship】を全社員で発揮し、
変化を興し続ける**

①Best Practice-ship ②Ownership ③Partnership

◆OODA-Loop手法



【変化が常態化した(ニューノーマル)環境】

- O**bservation: 五感を駆使して状況を観察する。
- O**rientation: 得られた情報と過去の経験や知識を駆使して状況判断する。
- D**ecision: 考えられる選択肢から成すべき意思決定をする。
- A**ction: 速やかに実行する。(繰り返すループ)

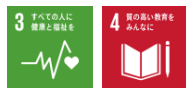
『共生社会』の実現に向けた取り組み

ユニ・チャームの目指す『共生社会』の実現に向けた取り組みを通じて、重要課題を解決し持続的な成長を実現

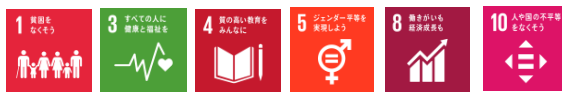


【ユニ・チャームの重要課題】

1. 健康寿命の延伸



2. 女性の自立支援
及び衛生改善



3. 地球環境への貢献



4. 地域社会への
貢献・人間尊重



5. 組織基盤の強化と
公正な事業慣行



重要課題に対する取り組み

E 環境負荷低減、廃棄物の削減

S 地域社会との共創共生、
サプライチェーンマネジメント

G OODA-Loop・共振の経営、
コンプライアンス、品質管理

BC 育児生活の向上を実現する

FC 女性の快適を科学し、
自由を創造する

HC 生命の喜びを追求する

C&F 「健康な美と清潔」の安心環境
を創造する

PC 健康と清潔でペットの暮らし快適に

ユニ・チャームの目指す世界

全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる



共生社会の実現

【企業理念】

NOLA & DOLA

Necessity of Life with Activities & Dreams of Life with Activities



健康寿命の延伸



◆『ライフリー』で健康寿命を支える

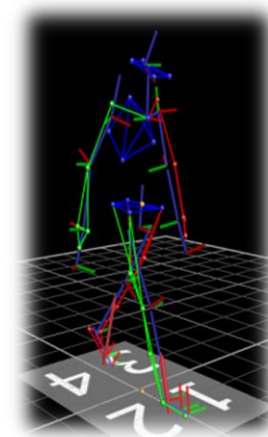
■ 「ソーシャル・ウォーキング※」で健康寿命の延伸に貢献

※「社会参加&歩行」の造語で、人と関わり、楽しみながら歩くことを誰もが取り組みやすい形にした認知症予防のためのウォーキング（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所の監修のもと、当社考案）

ソーシャル・ウォーキング
体験会参加延べ人数
3,080名



■ 体幹を支え“歩行”の自立を科学的に追求した「ライフリー 歩行アシストパンツ」



◆保護犬・保護猫支援の取組み

■ 保護犬・保護猫の支援活動を行っている、一般財団法人「クリステル・ヴィ・アンサンブル」様の“PANEL FOR LIFE”活動を支援



Christel
& Vie Ensemble



◆ペットとの共生社会実現に向けた商品開発

■ 介護が必要な状態となった高齢のペットの生活を少しでも楽に快適にし、最期の時まで幸せできるように

獣医師が推奨する
ユニチャーム ペット Pro





女性の自立支援および衛生改善



◆「生理だから学校へ行けない」をなくす

- インド、インドネシア、ミャンマーでの初潮教育プログラムの展開
- 開発途上国関係者向け「学校保健」研修で初潮教育活動を講義



インドでの初潮教育活動



開発途上国関係者向け「学校保健」研修



ミャンマーで開発した初潮教育用教材

◆低出生体重児への支援

- 低出生体重(2,500g未満)で生まれた赤ちゃんとそのご家族、赤ちゃんの発育を支える医療従事者を支援する「ちいさないのち応援プロジェクト」が「消費者志向活動章」を受章
- 1,000g未満の赤ちゃんのための世界最小※おむつ「ムーニー フラットタイプ」発売



※ 2019年3月ユニ・チャーム調べ



◆サウジアラビアの女性の就労支援

- 働きやすい環境をさらに拡大
 - ✓ 女性専用工場で託児所や子どもとも過ごせる休憩スペースを充実
 - ✓ 女性社員をリーダーに置き、工場運営をレベルアップ
 - ✓ 女性店頭販売員による店頭推奨活動を開始



◆女性の健康維持

- 生理や生理用品のことを隠すのではなく、気兼ねなく話せる世の中を目指したソフィ「#NoBagForMe」プロジェクトを始動
- 国内外で「ピンクリボン活動」に継続参加





女性の自立支援および衛生改善



◆共働き世帯と保育士の負担軽減に向けた取組み

- 保護者がおむつを持参するケースが多いなか、保育園向けにベビー用紙おむつのサブスクリプション(定額課金)サービスを開始

moony



おむつ・おしりふき持参なし!
笑顔で手をつないで登降園を♪

子どもと保護者の笑顔を増やす♪

手ふら登園

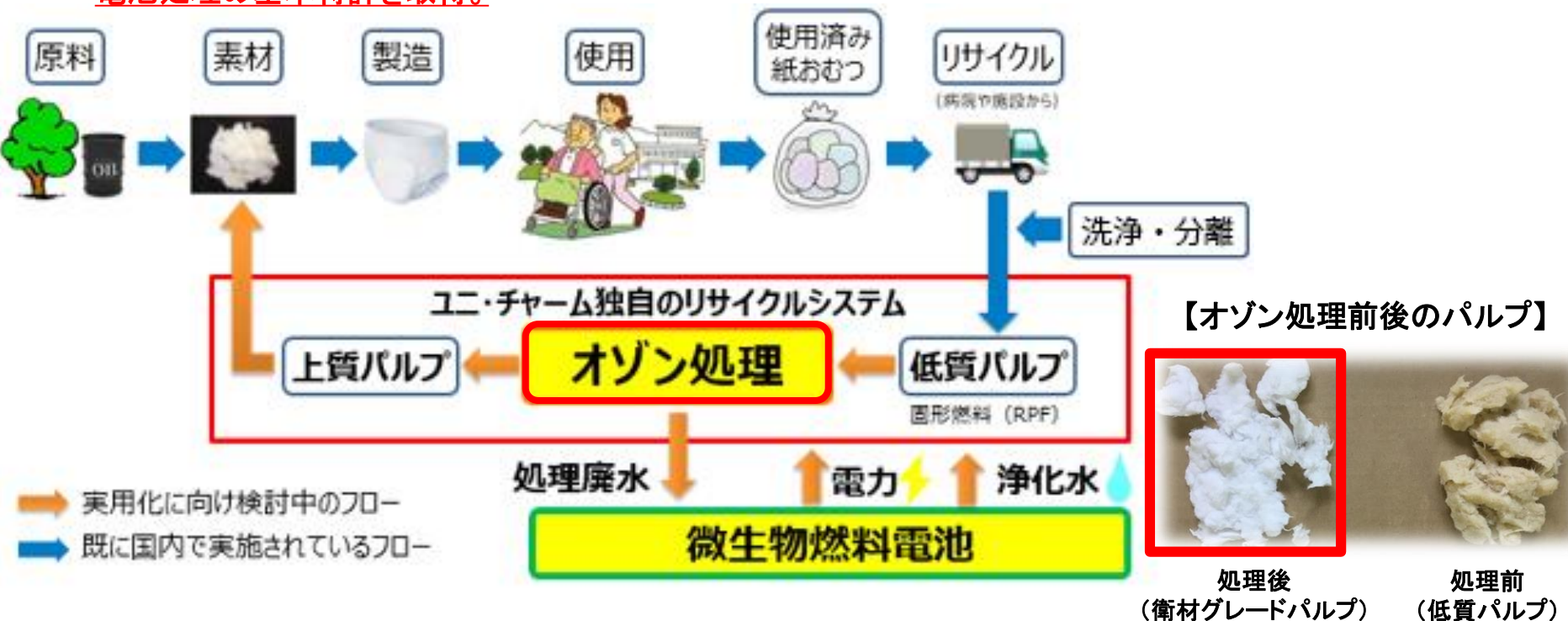


地球環境への貢献



◆ユニ・チャームの目指す紙おむつの循環型モデルの例

- 処理効率を高めることで、焼却と同等の処理費用に抑えながら、未使用素材と同等のパルプへと再資源化するシステムを実現
- ✓ 回収した使用済み紙おむつを洗浄・分離し、取り出したパルプに独自のオゾン処理をすることで、排泄物に含まれる菌を死滅させ、**バージンパルプと同等に衛生的で安全なパルプとして再資源化。**
- ✓ 洗浄、分離時に使用する処理水を再利用し、処理の効率化と排水量の低減化を実現。
- ✓ 広島大学との共同研究で、再生濃縮排水を浄化して発電する技術を開発し、2017年には、**微生物燃料電池処理の基本特許を取得。**





地球環境への貢献

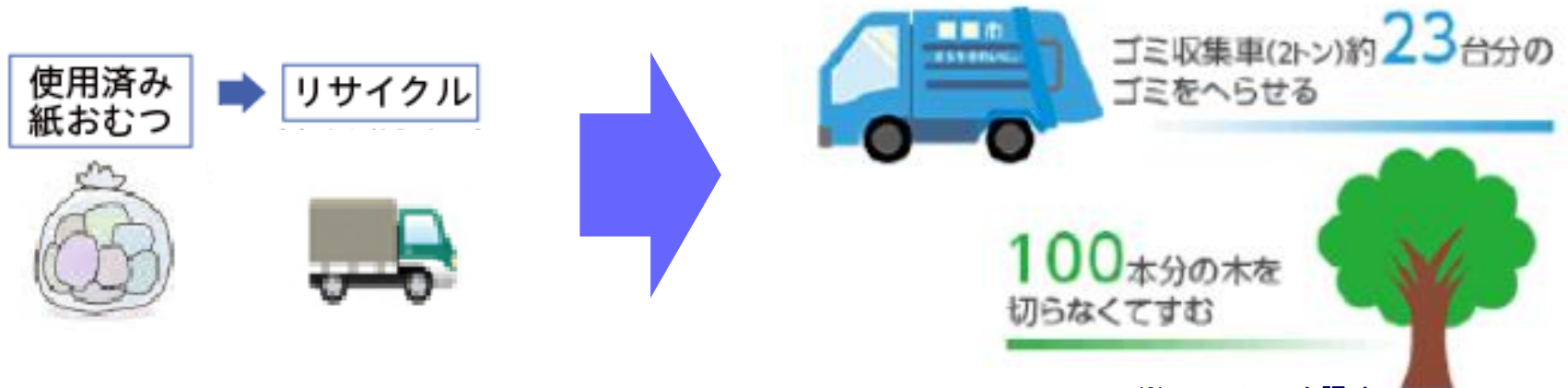


◆「使用済み紙おむつリサイクル技術」の事業化に向けた取り組み

- 2019年10月に「リサイクル事業準備室」を設置、2020年1月には「ESG本部」を設立
- 再生したパルプや高分子吸収ポリマー(SAP)を材料とした紙おむつなどの試作品に成功
- トイレtpーパーやメモ帳、紙製ファイルなど様々な試作品を製作



◆大人用紙おむつを100人が1年間リサイクルした場合の効果



※ユニ・チャーム調べ



地球環境への貢献



◆商品を通じたCO₂と破棄物削減活動

- 持続可能な社会への適合を推進する上位商品を「エコチャーム商品」として定義。基準をクリアした商品は158品目。(2018年12月現在)
- 紙おむつの製造工程で発生してしまう廃棄物などを商品化し、埋立廃棄物ゼロを実現
- 海外においても、タイ現地法人で埋立廃棄物ゼロを実現



◆生鮮食品の食品ロス削減の取り組み

- 余分な水分のみを吸収し、空気を通す「フレッシュマスター」で鮮度の劣化や変色を防ぎ、精肉(約3日)・鮮魚(約6日)の食品ロスに貢献



牛肉変色実験・保存3日目
(肉の表面)
左 フレッシュマスター
右 当社ミートペーパー

6日間保存した本マグロ
左2点 フレッシュマスター
右2点 当社キッチンペーパー

◆オーガニックコットンで地球環境に貢献

- 「ナチュラルムーニー」を通じて豊島(株)が展開する地球環境と子供の未来のためにちょっと良いことをする活動「オーガビッツ(ORGABITS)プロジェクト」※に協賛



※オーガニックコットンを通して、みんなで“ちょっと(bits)”ずつ地球環境に貢献しようという想いから始まったプロジェクト

◆ブラジル工場で再生可能エネルギー100%達成

- 気候変動への対応として再生可能エネルギーを活用し、CO₂排出削減活動を推進





地域社会への貢献



◆被災地支援の取り組み

■ 被災地支援と節電活動を組み合わせたマッチングファンド※を2011年より継続

- ✓ スーパークールビズ/ウォームビズ参加人数は、延べ18,705名
- ✓ 災害時の被災地への義援金、物資の支援に活用

■ インド洪水被災地への物資支援

■ 「平成30年7月豪雨」被災地への物資支援

■ 「令和元年台風第15号・第19号ならびに大雨」被災地への義援金と物資支援



※「被災地支援」と「節電推進」を目的に、社員が着用するオリジナルポロシャツやジャンパー、グッズなどを社内で販売。社員の購入した代金相当額と同額を寄付する制度。

◆地域活性化支援

■ 静岡県掛川市、鹿児島県志布志市と災害対策や子育て支援、健康増進など7分野における『包括連携協定』を締結

■ 福岡県、香川県、福島県福島市、熊本県熊本市などと『災害時における物資の供給協力に関する協定』を締結

■ インドネシア児童養護施設への継続支援と交流

■ エジプト現地法人での技術教育と就労機会の創出

■ 家族で災害へ備える衛生情報「マイスタイル防災」

■ 「ITFユニ・チャームトロフィー愛媛国際オープン」に協賛



インドネシア現地法人
児童養護施設訪問時の様子



マイスタイル防災

<http://www.unicharm.co.jp/csr-eco/mystylebosai/index.html>



エジプト現地高校での
Operator OFF-JTの様子



大会関係者の方々と
当社・高原社長 34

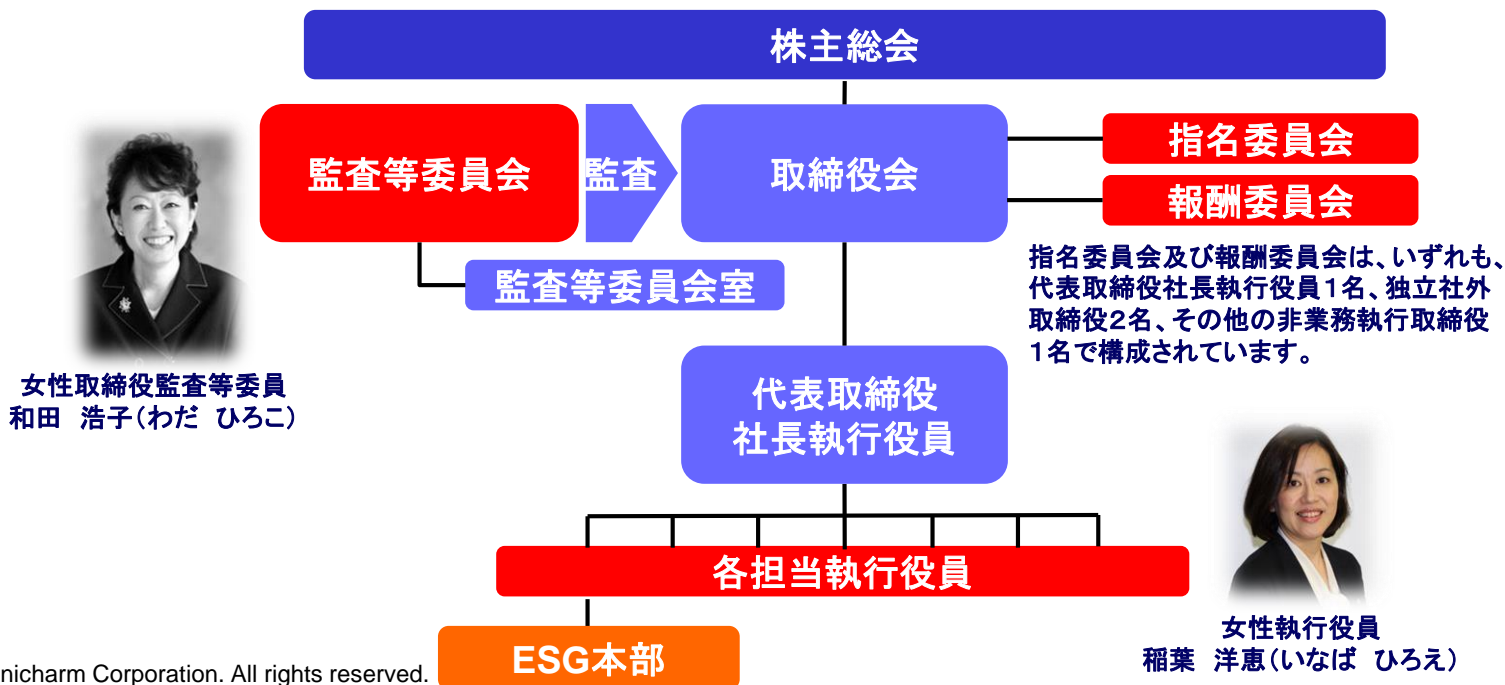


組織基盤の強化と公正な事業慣行



◆ 透明性・客観性・公平性強化に向けたガバナンス体制の整備

- 指名委員会及び報酬委員会の委員長を、代表取締役社長執行役員から独立社外取締役に変更
- 取締役6名のうち、女性1名を含む2名(3分の1)を独立社外取締役とし、取締役会の意思決定・監督機能の更なる向上と業務執行機能を強化
- 2020年1月に「ESG本部」を設立
- 女性の活躍支援を目指す「30% Club Japan」に加盟
- 全ての社員が輝き、働きがいのある職場を目指して (株)ワーク・ライフ・バランス社が推進する「男性育休100%宣言」に賛同
- タイ現地法人においてLGBT(性的少数者)の方たちに配慮した活動を推進



企業理念『NOLA & DOLA(生活者の“夢”をかなえる)』ための デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組み



◆「共生社会研究所」の設置

■ 生体情報を得ることで「本質価値」を発見

<p>唾液を採取</p>  <p>アミラーゼ量を測定</p>	<p>前頭前野</p>  <p>NIRS装置</p>	<p>足首に装着し体動計測</p>  <p>体動量計測器</p>
<p>Physiology (生理学系)</p> <p>心拍変動 ストレスホルモン</p>	<p>Neuro Science (脳科学)</p> <p>脳波 脳血流</p>	<p>Behavior (行動系)</p> <p>動作解析 表情解析</p>

◆生活者の悩みの種を拾い、解決する情報の提供

- 中国にて展開する育児動画メディア「Babily」(ベイビリー、中国名”贝贝粒”)
- 子どもが進んでトイレに行きたくなる「ムーニーちゃんとトイレトレーニング」アプリ
- ソフィ母娘で簡単！はじめての生理日管理



◆人工知能を活用した「大人用おむつNavi」

- 大人用紙おむつ業界初！人工知能を活用して最適なおむつ選びをアドバイス
- よりお役に立てるようLineでもサービスを開始

AIチャットボットが回答

はじめての大人用おむつの選び方

AIチャットボットのマキさんがズバリお答え！



AIチャットボットのマキさんが大人用おむつ選びの悩みにズバリお答え！
大人用おむつNAVI

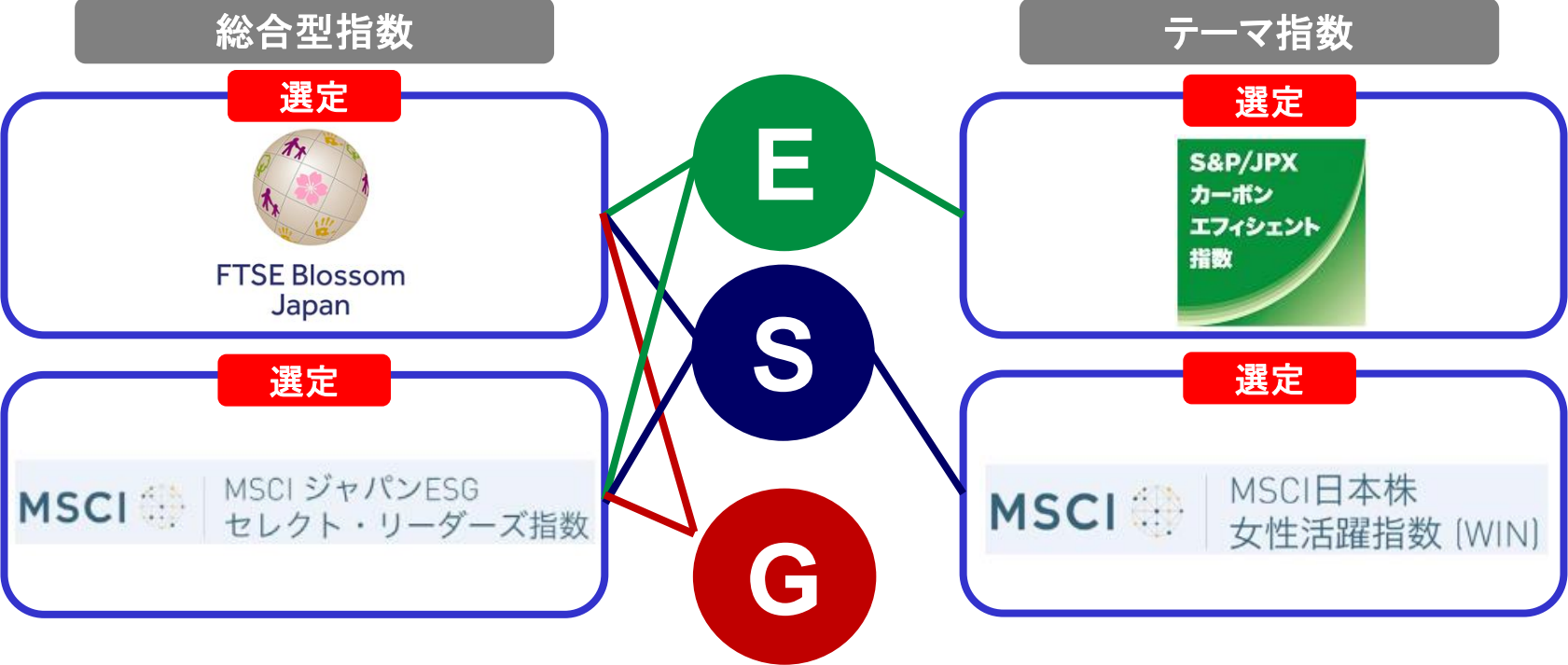


◆人と知恵と設備の融合を目指したスマート工場

- 最先端のAI技術を導入し、安全性と生産性を高めながら労働負荷も削減するよう自動化。環境にやさしく、地域社会との共生も重視。



GPIF採用ESG指数における4指数の構成銘柄に選定



その他SRI指数

選定

FTSE4Good

■ Science Based Target



- ✓ 2018年6月、日本で17番目の目標設定企業として認証
- ✓ CO₂総量削減目標設定済み

■ RSPO



- ✓ 責任あるパーム油の調達を目指し、2018年より認証パーム油(マスバランス)の使用を開始

■ JCI (日本気候変動イニシアティブ)



- ✓ 初期メンバーとして、先進グループのベストプラクティスを展開

■ CDPジャパン500



- ✓ 森林資源管理のPDCAサイクルが高いレベルで機能し、B評価を獲得

■ FSC (Forest stewardship council)



- ✓ 森林認証で一番厳しい認証基準をクリアしたパルプを優先して使用
- ✓ SDGsを推進するためバンクーバー宣言に賛同

外部機関からの評価と連携

■ Sedex



- ✓ 日本とアジア主要国、サウジアラビアなどの19工場をSedexに登録することにより従来の監査の有効性を確認しサステナビリティに貢献

■ ホワイト500



- ✓ 働き方改革の取り組みが評価され、2019年度も継続認定

■ プラチナくるみん



- ✓ 優良な子育てサポート企業として「プラチナくるみん」を取得

■ 男性育休100%宣言



- ✓ 全ての社員が輝き、働きがいのある職場を目指して(株)ワーク・ライフ・バランス社が推進する「男性育休100%宣言」に賛同

■ エコレールマーク



- ✓ トラックから船舶や鉄道輸送へのモーダルシフトを推進
- ✓ 「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言を提出

■ 攻めのIT経営銘柄



- ✓ 戦略的なIT活用に取り組む企業として選定

■ 第7回企業価値向上表彰「優秀賞」受賞



- ✓ 資本コストなど投資者の視点を強く意識した経営を実践し企業価値向上を実現しているとして受賞

■ 第35回企業広報賞「企業広報経営者賞」受賞



- ✓ 創業者の後を継ぎ、グローバル化を成功させるなど高い経営手腕を発揮したとして受賞



ユニ・チャームは
全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる“共生社会”の
実現に寄与するために、
快適と感動と喜びを与えるような
世界初、世界No.1の商品と
サービスを提供しつづけます。